



Cisco Trust Agent 2.0 リリースノート

第 2 版 : 2006 年 2 月 2 日

目次

このリリースノートは、Cisco Trust Agent (CTA) V.2.0 用です。次の項目について説明しています。

- **新機能**
 - [Linux オペレーティングシステムのサポート \(P.3\)](#)
 - [CTA 802.1X Wired Client \(P.3\)](#)
 - [CTA スクリプティングインターフェイス \(P.3\)](#)
 - [ctastat 診断ツール \(P.4\)](#)
 - [ログ管理の clogcli ツール \(P.4\)](#)
 - [ユーザ通知機能 \(P.4\)](#)
- **システム要件**
 - [Linux のシステム要件の確認 \(P.6\)](#)
 - [Windows のシステム要件の確認 \(P.7\)](#)



Corporate Headquarters: Cisco Systems, Inc., 170 West Tasman Drive, San Jose, CA 95134-1706 USA

Copyright © 2005. Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

OL-8749-01-J

- インストール上の注意事項 (P.8)
 - リリースされた Cisco Trust Agent のバージョン (P.8)
 - Cisco Trust Agent の最新リリースの入手方法 (P.8)
 - インストール方式 (P.9)
- アップグレードのサポート (P.10)
- 既知の制限事項 (P.11)
- 技術情報の入手方法
 - Cisco.com (P.18)
 - マニュアルの発注方法 (英語版)(P.19)
- テクニカル サポート
 - Cisco.com (P.18)
 - TAC (Technical Assistance Center)(P.20)
- その他の資料および情報の入手方法 (P.23)

新機能

次の項では、Cisco Trust Agent V.2.0 で使用できる新機能について説明します。

Linux オペレーティングシステムのサポート

Cisco Trust Agent 2.0 の機能が、特定の Linux オペレーティングシステムでサポートされるようになりました (CTA 802.1X Wired Client を除く)。

CTA 802.1X Wired Client

Cisco Trust Agent 802.1X Wired Client (802.1X Wired Client) は、ユーザがイーサネット スイッチにセキュアに接続するための認証サブリカントです。802.1X Wired Client は、認証ステータスをモニタリングし、IEEE 802.1X プロトコルで保護されている許可されたネットワーク アクセスを管理するためのグラフィカル ユーザ インターフェイスを提供します。

802.1X Wired Client を実装すると、802.1X イネーブル アクセス デバイス上のポート アクセス コントロールを介したクライアントとサーバ間の認証が成功した場合にのみ、エンドユーザはネットワークに接続できるようになります。

802.1X Wired Client は、Cisco Network Admission Control (NAC) セキュリティ環境の中心となるコンポーネントです。この環境では、Cisco Secure Access Control Server (ACS) は Cisco Trust Agent (CTA) に対し、システムで実行している NAC 対応のアプリケーションに関するポスチャ情報を要求します。CTA は 802.1X Wired Client を介してポスチャ情報を返します。

Cisco Trust Agent 802.1X Wired Client は、Windows システムでのみ使用できます。

CTA スクリプティング インターフェイス

スクリプティング インターフェイス (SI) 機能とは、ポスチャ情報を収集するサードパーティ スクリプトと、収集されたポスチャ情報を Cisco Secure Access Control Server (ACS) に中継する Cisco Trust Agent との間のインターフェイスを提供するものです。

アプリケーション用のポスチャ プラグインを作成せずに、アプリケーションでポスチャ情報を取得する必要のあるユーザ向けに、SI は提供されます。

ctastat 診断ツール

CTA は、管理者が CTA から診断情報を取得するためのユーティリティを提供します。この診断情報には、ACS と CTA との間で行われた通信のスナップショットが含まれます。このユーティリティを使用すると、最後に行われたポスチャチェックなどのポスチャ情報を表示できます。

システムの問題のトラブルシューティングを行う場合、ctastat を実行して情報を取得するように Cisco サポート (TAC) から依頼されることがあります。ctastat を実行するには、システムでローカルに作業している必要があります。

ログ管理の clogcli ツール

CTA は、エンドユーザ システムでローカルに実行可能な **clogcli** というユーティリティを提供します。clogcli は、ユーザがロギングのイネーブル化、ディセーブル化、および設定を行えるようにするものです。このユーティリティは、たとえば、ネットワーク クライアントが隔離された理由を判断するためにトラブルシューティングが必要な場合に役立ちます。

ユーザ通知機能

ユーザ通知とは、ホストの「ポスチャ」について説明するメッセージのことです。このメッセージは、Cisco Secure ACS から Cisco Trust Agent に送信されます。ユーザ通知は、デスクトップまたは CTA がインストールされているシステムのログイン画面に、ポップアップ メッセージとして表示されます。これらの通知は、CTA の機能の中で、エンドユーザとの相互対話を実現する唯一の機能です。

クリック可能 URL 機能

CTA で EnableNotifies パラメータがイネーブルになっていると、通知メッセージが含まれているポップアップ ウィンドウが表示されたときに、クリック可能 URL も表示されます。エンドユーザはこの URL リンクをクリックして、ACS 管理者が提供する追加情報が含まれているブラウザ ページに進むことができます。

ブラウザ自動起動機能


CTA で EnableNotifies パラメータがイネーブルになっている場合、通知メッセージが含まれているポップアップ ウィンドウが表示されたときに、ブラウザ ウィンドウも自動的に開きます。このブラウザ ページには、ACS 管理者が提供する追加情報が含まれています。この機能を使用すると、ユーザは追加情報の URL をクリックする必要がなく、追加情報はブラウザ ウィンドウに自動的に表示されます。

システム要件

CTA は、Linux オペレーティングシステムにも Windows オペレーティングシステムにもインストールできます。次の項では、各オペレーティングシステムのシステム要件について説明します。


Linux のシステム要件の確認

Cisco Trust Agent を Linux オペレーティングシステムにインストールする前に、ターゲットシステムが次の要件を満たしていることを確認してください。

システム コンポーネント	要件
システム	<ul style="list-style-type: none"> • Pentium クラス以上のプロセッサ • ネットワーク接続
オペレーティング システムの言語サポート	<p>次の使用可能な日本語版 Linux オペレーティングシステムは、CTA 2.0 をサポートしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Red Hat Enterprise Linux v3 (Enterprise、Advanced、Workstation) • Red Hat Enterprise Linux v4 (Enterprise、Advanced、Workstation) <p> (注) 日本語版のオペレーティングシステムのサポートは、日本語版の CTA とは異なります。CTA インターフェイスおよびメッセージは、常に英語で表示されます。</p>
Linux Installer	Red Hat Package Management (RPM) V4.2 以上
ハード ディスク容量	20 MB
メモリ	256 MB Red Hat Enterprise Linux バージョン 3 および 4 (Enterprise、Advanced、Workstation)
リスニング ポート	デフォルトでは、Cisco Trust Agent は UDP ポート 21862 で受信します。

Windows のシステム要件の確認

Cisco Trust Agent を Windows オペレーティング システムにインストールする前に、ターゲット システムが次の要件を満たしていることを確認してください。

システム コンポーネント	要件
システム	<ul style="list-style-type: none"> • Pentium クラス以上のプロセッサ • ネットワーク接続
Windows Installer	バージョン 2.0 以降
ハードディスク容量	20 MB 以上
メモリ	<ul style="list-style-type: none"> • 128 MB (Windows NT および Windows 2000 の場合) • 256 MB (Windows XP および Windows 2003 の場合)
リスニング ポート	デフォルトでは、Cisco Trust Agent は UDP ポート 21862 で受信します。
オペレーティング システムの言語サポート	<p>次の使用可能な日本語版 Windows オペレーティング システムは、CTA 2.0 をサポートしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Windows NT Server 4.0 (SP 6a) • Windows NT Workstation 4.0 (SP 6a) • Windows 2000 Professional (すべてのサービス パック レベル) • Windows 2000 Server (すべてのサービス パック レベル) • Windows 2000 Advanced Server (すべてのサービス パック レベル) • Windows XP Professional (すべてのサービス パック レベル) • Windows Server 2003 Standard edition (Service Pack 0 および 1) • Windows Server 2003 Enterprise edition (Service Packs 0 および 1) • Windows Server 2003 Web edition (Service Packs 0 および 1) <p> (注) 日本語版のオペレーティング システムのサポートは、日本語版の CTA とは異なります。CTA インターフェイスおよびメッセージは、常に英語で表示されます。</p>

インストール上の注意事項

リリースされた Cisco Trust Agent のバージョン

リリースされた Cisco Trust Agent のバージョン番号は 2.0.0.30 です。『Cisco Trust Agent Administrator Guide』の第 2 章「Installing the Cisco Trust Agent」で、ctasetup-win-2.0.0.X.exe や cta-linux-2.0.0-X.tar.gz などのインストール ファイルについて説明しています。この形式のインストール ファイルは CTA リリース 2.0.0.30 インストール ファイルと呼ばれ、<http://www.cisco.com/cgi-bin/tablebuild.pl/cta> で入手できます。

Cisco Trust Agent の最新リリースの入手方法

Cisco Trust Agent の最新リリースは、バージョン 2.0.0.30 です。この最新リリースを構成するいくつかのダウンロード可能ファイルは、<http://www.cisco.com/cgi-bin/tablebuild.pl/cta> で入手できます。Cisco.com の Web サイトからこれらのファイルにアクセスするには、Cisco.com に登録する必要があります。

表 1 は、このリリースに関して Cisco.com で入手できるダウンロード可能ファイルを示しています。これらのファイルの内容の完全な説明とその使用方法については、『Cisco Trust Agent Administrator Guide 2.0』を参照してください。

表 1 Cisco.com でダウンロード可能な CTA 2.0.0.30 ファイル

ダウンロード可能ファイルおよび説明	ファイルの内容および説明
cta20rn1.zip	cta20rn1.pdf Cisco Trust Agent 2.0 リリースノート第 1 版
CTA-AdminEx-Linux-2.0.0-30.tar.gz	ctaadminex-linux-2.0.0-30.sh 管理者がサイレント インストール パッケージを配布するために使用する。このファイルには 802.1X Wired Client は含まれない。

表1 Cisco.com でダウンロード可能な CTA 2.0.0.30 ファイル (続き)

ダウンロード可能ファイルおよび説明	ファイルの内容および説明
CTA-Linux-2.0.0-30.tar.gz	cta-linux-2.0.0-30.tar.gz CTA のウィザード方式インストール (802.1X Wired Client は含まれない)
CTA-AdminEx-Windows-Supplicant-2.0.0.30.zip	CtaAdminEx-supplicant-win-2.0.0.30.exe 管理者がサイレント インストール パッケージを配布するために使用する。このファイルには 802.1X Wired Client が含まれる。
CTA-AdminEx-Windows-2.0.0.30.zip	CtaAdminEx-win-2.0.0.30.exe 管理者がサイレント インストール パッケージを配布するために使用する。このファイルには 802.1X Wired Client は含まれない。
CTA-Windows-Supplicant-2.0.0.30.zip	ctasetup-supplicant-win-2.0.0.30.zip CTA のウィザード方式インストール (802.1X Wired Client が含まれる)
CTA-Windows-2.0.0.30.zip	ctasetup-win-2.0.0.30.exe CTA のウィザード方式インストール (802.1X Wired Client は含まれない)

インストール方式

Cisco Trust Agent は、Windows および Linux オペレーティングシステムへの「ウィザード方式」インストールまたは「サイレント」インストールが可能です。

「ウィザード方式」インストールでは、Windows ネットワーク クライアント上でインストール ウィザードのプロンプトに回答しながら、または Linux ネットワーク クライアント上でターミナル ウィンドウのプロンプトに回答しながら、インストールを実行します。

「サイレント」インストールでは、CTA のカスタム導入パッケージが作成され、ソフトウェア配布メカニズムによってネットワーク クライアントに配布されます。

どちらのインストール方式も、『Cisco Trust Agent Administrator Guide 2.0』で説明しています。

アップグレードのサポート

Cisco Trust Agent は、バージョン 1.0 からバージョン 2.0 へのアップグレードインストールをサポートしています。CTA のアップグレードインストールでは、既存の証明書は、CTA 1.0 のインストール時にそれらの証明書がインストールされたストアに保持されます。ポスチャ プラグインおよび `ctalogd.ini` ファイルは、CTA 2.0 のディレクトリ構造の新しい場所に移されます。

CTA 1.0 で使用された `ctad.ini` ファイルは最初にインストールされたディレクトリに保持され、CTA 2.0 は元の場所に保持されているこのファイルを認識します。



(注)

CTA 1.0 から CTA 2.0 にアップグレードした後、何らかの理由で CTA 2.0 をいったんアンインストールして再インストールする必要がある場合、前に使用していた `ctad.ini` ファイルおよび `ctalogd.ini` ファイルを、新しいインストールディレクトリパスに移動する必要があります。

アップグレードの動作は、使用するインストール方式を反映します。ウィザード方式インストールを使用してアップグレードを行う場合は、CTA 2.0 は以前の CTA 1.0 のインストールを認識し、アップグレードする必要があるかどうかについてユーザに確認を求めるプロンプトを表示します。サイレントインストールの場合は、ユーザがアップグレードすることを前提とし、プロンプトを表示することなくインストールプロセスが進められます。

既知の制限事項

この項では、Cisco Trust Agent V.2.0 に存在する既知の問題について説明します。



(注) 説明欄の「—」は、このリリースノートの発行時点で、入手できる情報がないことを示しています。Cisco Software Bug Toolkit で最新情報をチェックしてください。Cisco Software Bug Toolkit にアクセスするには、<http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/home.pl> を参照してください (Cisco.com にログインするよう求められます)。

表2 Cisco Trust Agent V.2.0 の既知の制限事項

バグID	見出し	説明
CSCef09817	<p>ポート競合が発生した場合、インストールは完了しません。</p>	<p>症状 CTA のインストール中、Windows NT 4.0 上で CTA とのポート競合が発生した場合、Cisco Trust Agent EOU Daemon サービスが起動せず、CTA のインストールはキャンセルされます。ただし、Windows XP および Windows 2000 上ではインストールは最後まで実行され、ポート競合エラーは CTA ログに記録されます。</p> <p>条件 Windows NT で発生します。</p> <p>回避策 CTA が受信していたポートは、ctad.ini ファイルで変更できます。このポートを競合しないポートに変更すると、インストールが続行します。ポート番号を変更するには、『CTA Administrators Guide』の LocalPort を調べてください。</p>
CSCsb47789	<p>TLS alert bad_certificate(42) は unknown_ca(48) です。</p>	<p>症状 CTA 802.1X Wired Client が、不正確なエラー コードを ACS に送信することがあります。802.1X Wired Client は、unknown_ca(48) を送信する必要がある場合に bad_certificate(42) を送信します。このエラーは ACS に記録され、ACS 管理者に誤解を与えるおそれがあります。</p> <p>不正確なログが ACS に記録されることとなりますが、802.1X Wired Client および ACS の機能に影響はありません。</p> <p>条件 有効な証明書チェーンまたは部分的なチェーンを受信しましたが、CA 証明書が見つからなかったか、または既知の信頼できる CA と一致しなかったため、その証明書は受け入れられませんでした。</p> <p>回避策 回避策はありません。</p>

表 2 Cisco Trust Agent V.2.0 の既知の制限事項（続き）

バグ ID	見出し	説明
CSCsb67286	CTA がスイッチからの EOU hello に応答しません。保留状態です。	<p>症状 CTA が、スイッチからの EAP over UDP hello に応答しません。このスイッチ ポートは保留状態です。Windows XP ファイアウォールが CTA へのトラフィックまたは EAP over UDP を介したトラフィックを許可するように設定されている場合でも、この問題は発生します。</p> <p>ブート時、Windows XP ファイアウォールは、CTA への EAPoverUDP トラフィックをブロックするブート ポリシーをロードします。ファイアウォールがディセーブルになっている場合でもファイアウォール サービスが実行中であれば、このブート ポリシーがロードされます。</p> <p>この動作は、主にブート時に発生します。Windows ファイアウォールの詳細については、次の URL にある Microsoft Security Developer Center の該当する記事を参照してください。 http://msdn.microsoft.com/security/productinfo/XPSP2/networkprotection/firewall.aspx</p> <p>条件 Windows XP Service Pack 2 でファイアウォール サービスが動作しています。</p> <p>回避策 Windows XP ファイアウォール サービスの状態を手動またはディセーブルに変更します。</p>

表 2 Cisco Trust Agent V.2.0 の既知の制限事項（続き）

バグ ID	見出し	説明
CSCsb88110	複数のインターフェイスでのブート中に、802.1X Wired Client ポップアップボックスが表示されなくなります。	<p>症状 802.1X Wired Client がインストールされている PC を複数（4 つ）のインターフェイスでブートする際に、ユーザは最初のポップアップ ボックスでユーザ名とパスワードを入力します。ところが、2 番目のポップアップ ボックスが表示されません。802.1X Wired Client は、2 番目のポップアップ ボックスにパスワードが入力されるのを待ちます。その後、3 番目のポップアップ ボックスが表示されます。4 番目のポップアップ ボックスは表示されませんが、802.1X Wired Client はパスワードの入力を待ちます。</p> <p>条件 複数のインターフェイスで認証が行われていると、この問題が発生します。</p> <p>回避策 CTA の ctad.ini で EnableLogonNotifies アトリビュートを 0 に設定します。</p>
CSCsc18885	「Failed to read Registry Key (レジストリ キーの読み取りに失敗しました)」という誤ったログ エントリが CTA ログに記録されます。	<p>症状 ログイングをイネーブルにした状態で、Cisco Trust Agent の新規インストール、アップグレード、または再インストールを実行すると、誤ったログ メッセージが生成されます。このメッセージは、次のようなメッセージになります。</p> <pre>2 12:00:00.000 11/11/2005 Sev=Critical/1 PSDaemon/0xE3C0001A Failed to Read Registry Key, error code 2</pre> <p>条件 この誤ったログ メッセージは、Windows NT 4.0、Window 2000、および Windows XP で確認されました。</p> <p>回避策 有効な回避策はありません。このログ メッセージは誤りですが、Cisco Trust Agent の実行に影響はありません。</p>

表2 Cisco Trust Agent V.2.0 の既知の制限事項（続き）

バグID	見出し	説明
CSCsc21188	CTA 802.1X Wired Client がアイドル状態のときに、スイッチからの EAP 要求に応答しません。	<p>症状 CTA 802.1X Wired Client がアイドル状態のときに、スイッチからの EAP 要求に応答しません。</p> <p>条件 CTA マシンがポートに接続済みで、そのポートが IEEE 802.1X 用にイネーブルになっていると、この問題が発生します。</p> <p>回避策</p> <ul style="list-style-type: none"> クライアント マシンをリブートします。クライアント マシンが起動すると、IEEE 802.1X セッションが開始されます。 802.1X Wired Client 接続ダイアログの Connect ボタンをクリックします。
CSCsc25865	Windows NT 4.0 で、古いユーザ通知が新しいユーザ通知に上書きされません。	<p>症状 通常、CTA は新しい通知を表示する前に、古い通知を削除します。ただし、アップグレードの場合、古い通知が削除されないことがあります。CTA をアップグレードする際に CTA 通知ダイアログが開いていると、CTA が新しい通知を受け取ってもこの通知ダイアログは削除されません。</p> <p>条件 CTA 通知が表示されたままでアップグレードを実行すると、この問題が発生します。</p> <p>回避策 アップグレードを実行する前に通知ダイアログを閉じます。</p>
CSCsc31219	接続に失敗しても、ユーザ クレデンシャル ダイアログが閉じません。	<p>症状 ネットワーク クライアントがレイヤ2 でポスチャの提示に失敗し、ACS がそのネットワーク クライアントのポリシーを設定できない場合、およびユーザが誤ったクレデンシャルを入力した場合、ポップアップ ウィンドウボックスは画面から自動的に削除されません。</p> <p>回避策 手動でダイアログボックスを閉じます。</p>

表2 Cisco Trust Agent V.2.0 の既知の制限事項（続き）

バグID	見出し	説明
CSCsc39434	Windows NT 4.0 Service Pack 6a の CTA ログ ファイルに CTA モジュールが記録されていません。	<p>症状 CTA モジュール (CTAMSG、CTASI、CTASC) が CTA ログ ファイルに記録されていません。これは、CTAMsg、CTASI、CTASC、および CTA ログ サービスにそれぞれ異なる特権が存在するためです。</p> <p>条件 Windows NT Service Pack 6a</p> <p>回避策 回避策はありません。</p>
CSCsc40724	スクリプティングにステータス変更 <CmdBold>ctasi <noCmdBold> <CmdArg> posture_data_file 1<noCmdArg> が発生しても、完全なポストチャ確認が開始されません。	<p>症状 Windows NT 4.0 SP6a では、n=1 のオプションを指定してスクリプト インターフェイスを使用すると、Status Query タイムアウトが発生しても、このスクリプトは完全なポストチャ確認を開始しません。そのようなステータス変更を引き起こすコマンドは、ctasi posture_data_file 1 で検出されています。</p> <p>条件 Windows NT</p> <p>回避策 CTA 上での回避策はありません。しかし、NAD 上の確認タイムアウトを減らすことができます。</p>
CSCsc43747	CTA のアンインストール時に、重大エラーが表示されました。	<p>症状 エラー ダイアログ <i>Fatal[c0029]: Timed semaphore failed</i> が CTA のアンインストール時に表示されます。</p> <p>回避策 エラーを無視します。このダイアログは重大ではありません。アンインストールに影響はありません。</p>

表2 Cisco Trust Agent V.2.0 の既知の制限事項（続き）

バグ ID	見出し	説明
CSCsc59547	通知が送信されるときに <code>enablenotifies</code> パラメータがイネーブルになっていると、WINNT から <code>ctamsg</code> エラーが発生します。	<p>症状 Windows NT Service Pack 6a に CTA クライアントをインストールすると、通知のデフォルト設定がイネーブルになります。Windows NT 上では、この設定によってポスチャ ステータス ポップアップが表示されることはありませんが、この設定が <code>ctamsg.exe</code> でのエラーの原因になり、Dr. Watson ウィンドウがポップアップします。この状態を放置しておくと、Dr. Watson のポップアップ表示により、マシンの仮想メモリが不足することになります（ポップアップ ウィンドウを閉じれば問題は解決します）。</p> <p>条件 Windows NT Service Pack 6a</p> <p>回避策 回避策は、<code>c:\program files\cisco systems\ciscotrustagent\ctad.ini.windows</code> ファイルを編集し、<code>enablenotifies =0</code> に設定し、このファイルを <code>ctad.ini</code> という名前で保存することです。この操作によって、通知メッセージがディセーブルになり、エラー ポップアップが表示されなくなります。マシンのポスチャ ステータスをチェックするには、ユーザは <code>clogcli</code> ユーティリティを使用してロギングをイネーブルにしてからログ ファイルを確認するか、またはネットワーク接続をテストする必要があります。<code>c:\program files\cisco systems\ciscotrustagent\clogcli enable</code> によってロギングがイネーブルになり、ログ ファイルは <code>c:\program files\cisco systems\ciscotrustagent\logging\logs</code> にあります。</p>

技術情報の入手方法

このリリースで提供されている CTA 関連マニュアルは、『Cisco Trust Agent Administrator Guide, V.2.0』です。

シスコの製品マニュアル、テクニカル サポート、およびその他のリソースは、さまざまな方法で入手することができます。ここでは、シスコ製品に関する技術情報を入手する方法について説明します。

Cisco.com

WWW 上の次の URL から、シスコ製品の最新資料を入手することができます。

<http://www.cisco.com/univercd/home/home.htm>

シスコの Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com>

Network Admission Control (NAC) プログラムへのリンクには、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/go/nac>

また、シスコの Web サイトの各国語版へは、次の URL からアクセスできます。

http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml

シスコ製品の最新資料の日本語版は、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp>

マニュアルの発注方法（英語版）

英文マニュアルの発注方法については、次の URL にアクセスしてください。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/es_inpck/pdi.htm

シスコ製品の英文マニュアルは、次の方法で発注できます。

- Cisco.com 登録ユーザ（Cisco Direct Customers）の場合、Networking Products MarketPlace からシスコ製品の英文マニュアルを発注できます。次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/en/US/partner/ordering/index.shtml>

- Cisco.com に登録されていない場合、製品を購入された代理店へお問い合わせください。

シスコシステムズマニュアルセンター

シスコシステムズマニュアルセンターでは、シスコ製品の日本語マニュアルの最新版を PDF 形式で公開しています。また、日本語マニュアル、および日本語マニュアル CD-ROM もオンラインで発注可能です。ご希望の方は、次の URL にアクセスしてください。

<http://www2.hipri.com/cisco/>

また、シスコシステムズマニュアルセンターでは、日本語マニュアル中の誤記、誤植に関するコメントをお受けしています。次の URL の「製品マニュアル内容不良報告」をクリックすると、コメント入力画面が表示されます。

<http://www2.hipri.com/cisco/>

なお、技術内容に関するお問い合わせは、この Web サイトではお受けできませんので、製品を購入された各代理店へお問い合わせください。

テクニカル サポート

シスコでは、あらゆる技術上の支援のための窓口として、Cisco TAC Web サイトを含む Cisco.com を運営しています。お客様およびパートナーは Cisco TAC Web サイトからマニュアル、トラブルシューティングに関するヒント、およびコンフィギュレーション例を入手できます。Cisco.com にご登録済みのお客様は、TAC ツール、ユーティリティなど、Cisco TAC Web サイトで提供するすべてのテクニカル サポート リソースをご利用いただけます。

Cisco.com

Cisco.com は、いつでもどこからでも、シスコの情報、ネットワーキングソリューション、サービス、プログラム、およびリソースにアクセスできる対話形式のネットワーク サービスを提供しています。

Cisco.com では、次の目的に役立つ機能およびサービスを豊富に用意しています。

- ビジネス プロセスの合理化と生産性の向上
- オンライン テクニカル サポートによる技術上の問題の解決
- ソフトウェア パッケージのダウンロードおよびテスト
- シスコのトレーニング資料や製品の発注
- オンラインでのスキル査定、トレーニング、認定プログラムへの登録

次の URL から Cisco.com に登録されると、各ユーザに合った情報やサービスが得られます。

<http://tools.cisco.com/RPF/register/register.do>

TAC (Technical Assistance Center)

シスコの製品、テクノロジー、またはソリューションについて技術的な支援が必要な場合には、TAC をご利用いただくことができます。TAC では、2 種類のサポートを提供しています。Cisco TAC Web サイトと Cisco TAC Escalation Center です。どのタイプのサポートをご利用になるかは、問題の緊急性とサービス契約（該当する場合）に記載された条件によって決まります。

TAC へのお問い合わせは、問題の緊急性に依りて分類されます。

- **プライオリティ レベル 4 (P4):** シスコ製品の機能、インストール、基本的なコンフィギュレーションについて、情報または支援が必要な場合。業務の運用には、ほとんど影響がありません。
- **プライオリティ レベル 3 (P3):** ネットワークの動作パフォーマンスが低下しているが、ほとんどの業務運用は継続できる場合。お客様およびシスコが、業務時間中にサービスを十分なレベルにまで復旧させる必要があると判断した場合。
- **プライオリティ レベル 2 (P2):** 既存のネットワーク動作が著しく低下したか、シスコ製品が十分に機能しないため、業務に重大な影響を及ぼした場合。お客様およびシスコが、通常の業務中の全時間を費やして、この問題を解決する必要があると判断した場合。
- **プライオリティ レベル 1 (P1):** 既存のネットワークが「ダウン」した状態か、業務に致命的な損害が発生した場合。お客様およびシスコが、24 時間体制でこの問題を解決する必要があると判断した場合。

Cisco TAC Web サイト

Cisco TAC Web サイトでは、シスコ製品やシスコの技術に関するトラブルシューティングにお役立ていただけるように、オンラインでマニュアルやツールを提供しています。Cisco TAC Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/tac>

シスコとサービス契約を結んでいるお客様、パートナー、リセラーは、Cisco TAC Web サイトのすべてのテクニカル サポート リソースをご利用いただけます。Cisco TAC Web サイトの一部のサービスには、Cisco.com のログイン ID とパスワードが必要です。サービス契約が有効で、ログイン ID またはパスワードを取得していない場合は、次の URL にアクセスして登録手続きを行ってください。

<http://tools.cisco.com/RPF/register/register.do>

Cisco.com の登録ユーザは、Cisco TAC Web サイトで技術上の問題を解決できなかった場合、次の URL から TAC Case Open ツールのオンライン サービスを利用することができます。

<http://www.cisco.com/tac/caseopen>

インターネットを利用する場合、P3 および P4 の問題については、状況を十分に説明し、必要なファイルを添付することができるよう、オンライン サービスを利用することをお勧めします。

Japan TAC Web サイト

Japan TAC Web サイトでは、利用頻度の高い TAC Web サイト (<http://www.cisco.com/tac>) のドキュメントを日本語で提供しています。Japan TAC Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp/go/tac>

サポート契約を結んでいない方は、「ゲスト」としてご登録いただくだけで、Japan TAC Web サイトのドキュメントにアクセスできます。Japan TAC Web サイトにアクセスするには、Cisco.com のログイン ID とパスワードが必要です。ログイン ID とパスワードを取得していない場合は、次の URL にアクセスして登録手続きを行ってください。

<http://www.cisco.com/jp/register>

Cisco TAC Escalation Center

Cisco TAC Escalation Center では、P1 および P2 レベルの問題に対応しています。このレベルに分類されるのは、ネットワークの機能が著しく低下し、業務の運用に重大な影響がある場合です。Cisco TAC Escalation Center にお問い合わせいただいた P1 または P2 の問題には、TAC エンジニアが対応します。

TAC フリーダイヤルの国別電話番号は、次の URL を参照してください。

<http://www.cisco.com/warp/public/687/Directory/DirTAC.shtml>

ご連絡に先立って、お客様が契約しているシスコ サポート サービスがどの契約となっているか（たとえば、SMARTnet、SMARTnet Onsite、または Network Supported Accounts [NSA; ネットワーク サポート アカウント] など）、お客様のネットワーク管理部門にご確認ください。お電話の際は、お客様のサービス契約番号およびご使用の製品のシリアル番号をお手元にご用意ください。

その他の資料および情報の入手方法

シスコの製品、テクノロジー、およびネットワーク ソリューションに関する情報について、さまざまな資料をオンラインおよび印刷物で入手できます。

- 『Cisco Product Catalog』には、シスコシステムズが提供するネットワーキング製品のほか、発注方法やカスタマー サポート サービスについての情報が記載されています。『Cisco Product Catalog』には、次の URL からアクセスしてください。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_catalog_links_launch.html

- Cisco Press では、ネットワーク関連の出版物を幅広く発行しています。初心者から上級者まで、さまざまな読者向けの出版物があります。『*Internetworking Terms and Acronyms Dictionary*』、『*Internetworking Technology Handbook*』、『*Internetworking Troubleshooting Guide*』、『*Internetworking Design Guide*』などです。Cisco Press の最新の出版情報などについては、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.ciscopress.com>

- 『*Packet*』は、シスコが発行する季刊誌で、最新ネットワーク トренд、最新テクノロジー、および業界の専門家がネットワーク投資を最大限に活用するのに役立つシスコ製品およびソリューション情報が記載されています。ネットワーク構成およびトラブルシューティングに関するヒント、コンフィギュレーション例、カスタマー ケース スタディ、チュートリアルおよびトレーニング、認定情報、およびさまざまな充実したオンライン サービスへのリンクの内容が含まれます。『*Packet*』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/packet>

日本語版『*Packet*』は、米国版『*Packet*』と日本版のオリジナル記事で構成されています。日本語版『*Packet*』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/news/packet/>

- 『*iQ Magazine*』は、シスコが発行する隔月誌で、業界の経営幹部向けにインターネット ビジネス戦略に関する最新情報を提供します。『*iQ Magazine*』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/iqmagazine>

- 『Internet Protocol Journal』は、インターネットおよびイントラネットの設計、開発、運用を担当するエンジニア向けに、シスコが発行する季刊誌です。『Internet Protocol Journal』には、次の URL からアクセスしてください。

http://www.cisco.com/en/US/about/ac123/ac147/about_cisco_the_internet_protocol_journal.html

- トレーニング：シスコは、国際的なレベルのネットワーク関連トレーニングを実施しています。トレーニングの最新情報については、次の URL からアクセスしてください。

http://www.cisco.com/en/US/learning/le31/learning_recommended_training_list.html

このマニュアルは、「技術情報の入手方法」の項に挙げられているマニュアルと併せて使用することを想定しています。

CCSP、CCVP、Cisco Square Bridge のロゴ、Follow Me Browsing、および StackWise は、Cisco Systems, Inc. の商標です。Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn および iQuick Study は、Cisco Systems, Inc. のサービスマークです。Access Registrar、Aironet、BPX、Catalyst、CCDA、CCDP、CCIE、CCIP、CCNA、CCNP、Cisco、Cisco Certified Internetwork Expert のロゴ、Cisco IOS、Cisco Press、Cisco Systems、Cisco Systems Capital、Cisco Systems のロゴ、Cisco Unity、Enterprise/Solver、EtherChannel、EtherFast、EtherSwitch、Fast Step、FormShare、GigaDrive、GigaStack、HomeLink、Internet Quotient、IOS、IP/TV、iQ Expertise、iQ のロゴ、iQ Net Readiness Scorecard、LightStream、Linksys、MeetingPlace、MGX、Networkers のロゴ、Networking Academy、Network Registrar、*Packet*、PIX、Post-Routing、Pre-Routing、ProConnect、RateMUX、ScriptShare、SlideCast、SMARTnet、The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient、および TransPath は、米国および一部の国における Cisco Systems, Inc. とその関連会社の登録商標です。

このマニュアルまたは Web サイトで言及されているその他の商標はすべて、それぞれの所有者のもです。「パートナー」という語の使用は、シスコと他社の提携関係を意味するものではありません。(0601R)

Copyright © 2005, Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。

シスコシステムズでは以下のURLで最新の日本語マニュアルを公開しております。
本書とあわせてご利用ください。

Cisco.com 日本語サイト

http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/

日本語マニュアルの購入を希望される方は、以下のURLからお申し込みいただけます。

シスコシステムズマニュアルセンター

<http://www2.hpri.com/cisco/>

上記の両サイトで、日本語マニュアルの記述内容に関するご意見もお受けいたしますので、
どうぞご利用ください。

なお、技術内容に関するご質問は、製品を購入された各代理店へお問い合わせください。



シスコシステムズ株式会社

URL:<http://www.cisco.com/jp/>

問合せ URL:<http://www.cisco.com/jp/service/contactcenter/>

〒 107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館

TEL.03-5549-6500 FAX.03-5549-6501